



町長回誌 No.152

町長日誌の第152号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月20日(月) AM10:00

今朝は、早朝から大きな雷が鳴り響き大粒の雨が降り出しました。予報では夕方からと聞いていたのですが、まさに「また、雨！」という感じです。本来ならば、酪農家は一番牧草収穫作業の真最中の時期なのですが、先週も一日おきに雨が降り、しかも低温で牧草地はぬかるみが出来るような状態になっており、かなり好天が続かなければ収穫作業に支障が出そうです。因みに、牧草の収穫には適期があります。草の成分、つまりはカロリーやたんぱく質の量と草の収量は成長と共に反比例しますので、どの段階で収穫するのかが農家の判断なのです。乳牛は人が消化できない植物のセルロース（繊維分）を消化できる動物ですし、これが無ければ生きられない動物でもあります。しかし、乳牛は人の手で長い時間をかけ大量のミルクを生産出来る様に改良されてきましたので、このためには高たんぱく高カロリーの栄養も必要となります。これまでは人も食べる大豆やトウモロコシ、小麦などをミックスした穀物飼料を大量に食べさせてミルクを生産してきましたが、経費が大きくかかる事から近年は牧草の栄養が高い時期に収穫して購入飼料代を節約し、尚且つ乳牛の生産寿命を伸ばす指導がなされています。とにかく、天候回復を祈るばかりです。

5月30日(月)

現在私は北海道町村会の理事を務めているのですが、年1回東京で理事会がこの時期に開催されます。会議は午後からでしたが、午前10時から東京江東区（旧深川、木場など東京湾に面した地域）のFMラジオに15分ほど出演して興部町のPRをしてきました。今、北海道町村会と東京23区とで交流事業が企画されオホーツク町村会は江東区との交流事業を検討しており、6月5日に開催される「江東区環境フェア」に各町から職員1名を派遣して、どのような交流をすべきか調査することになりました。私は、いつもスタジオにお邪魔していますSTVラジオの日高晤郎ショーでお会いした歌手の野村未奈さんがFMラジオのパーソナリティーを務められていることをお聴きしたことから、交流事業やオホーツク地域のPRをお願いしたところ、心よく応じて頂き実現したものです。すぐに効果の出るものではありませんが、これからも長いお付き合いをしていきたいと考えています。

6月14~16日(火~木)

これもSTVラジオが関係するお話ですが、昨年までSTV本社前で開催していました「風土&フードフェスティバル」とSTVラジオのお祭りでした「ドキドキプラザ」をドッキングした、「STVどきどきフードパーク」に参加してきました。この催事は北海道神宮祭に合わせた日程で中島公園に隣接したパークホテル駐車場を会場に行われました。風土&フードはこれまで4回開催され多くの町や高校が参加しコラボ食品の創作や特産品の販売、そして交流を目的に行ってきましたが、大通公園で開催のオータムフェストと競合することなどから新しい展開を模索していたものです。このお祭りは日高晤郎さんと私との会話の中から生まれSTVラジオ50周年記念事業として始まったものですが、今年は常連の遠軽・大空・当麻・様似・広尾・松前・帯広市に加え新たに沼田町が参加して下さいました。人出は神宮祭への人手もあり何万人ものお客様が来場され大変な賑わいでした。興部町はすっかり「乳製品の町」として知られていて各工房のチーズやヨーグルトなどは完売しました。また、パークホテルのシェフが作るピザには各町の特産品をトッピングするコラボメニューを提供し興部からはベーコンを提供しました。また、今年から竹内漁業部のとろろ昆布を新たに販売したところ飛ぶように売れましたので、水産加工品の種類も今後増えればと願うところです。他の町の商品の売れ具合や価格設定、商品パッケージの良し悪しなど勉強になる事ばかりでした。私は、会議などが有り合間に顔を出す程度でしたが、参加した職員には良い勉強になったようです。

6月19日は、「父の日」でした。すでに父親を亡くされた方にとってはお線香や好物を仏壇に供えた方もいらしたと思います。私は幸いにも娘からお供え物の様な「とらや」の羊羹が届きました。まあ、喜ぶべきでしょうね！感謝、感謝です。さて、明後日から道庁への予算要望、月末には東京への要望活動が予定されています。暑さと湿度に負けずにがんばります。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。